

## 対話と共創ですべてのステークホルダーの皆様とともに 更なる成長を果たす



### 統合報告書をお届けするにあたって

アサヒグループは、新グループ理念「Asahi Group Philosophy」のもと、“グローバルな価値創造企業”を目指していきます。今後、「中期経営方針」をはじめ、取締役会の実効性向上に向けたガバナンス改革、ESGの重点テーマへの注力など、これからの価値創造経営に必要な打ち手を迅速に、そして着実に講じています。このたび取締役会長から代表権を外しましたが、これは私自身、取締役会議長として、グローバルなステージで新たな挑戦に踏み出すグループのあるべきガバナンスを一層追求していく決意を示すものでもあります。

グローバルな成長ステージに入ったことで、グループが直面するリスクや課題は、これまでにならぬほど複雑で多様なものとなります。そうした中、今後も着実に持続的な成長を遂げていくためには、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様との対話が、ますます欠かせないものとなります。そこでは単なる対話だけでなく、新たな価値をステークホルダーの皆様と「共創」していくことが重要な経営課題となります。この「統合報告書」を、対話と共創を促す大切なエンゲージメントツールの一つと位置付け、これまで以上に積極的な情報開示にも取り組んでいきます。

「統合報告書 2018」は、次の成長を見据えた課題、目標、戦略、具体的施策を、持続的な企業価値向上という視点を踏まえて編集しており、議論を含めたその作成プロセスや記載内容は正当であることをここに表明します。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

2019年 6月

取締役会長 兼 取締役会議長

泉谷直木